

平成24年度 事務事業評価シート

事業概要	事務事業名	予防接種事業						担当部	健康福祉部		
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系	担当課	保健センター			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	予防係		
	総合計画 分野別計画	主目的	3 保健福祉		10 健康づくり		4 健康づくりのための環境を整備する				
		副目的									
	予算区分	款	4	項	1	目	2	大	2	中	1
	根拠法令・個別計画	予防接種法									
	実施・運営方法 ※費用合計に占める経費の内 訳(割合)	直接実施・ 運営	3 %		委託	91 %		助成	6 %		
	目的 (対象をどの様な状態に するのか)	予防接種を実施することで、市民が感染症へ感染することを予防する。									
	内容 (手段)	<p>○平成23年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予防接種は、各市民センター等で実施する集団接種(ポリオ・BCG)と医療機関で実施する個別接種(麻しん風しん混合、三種・二種混合、日本脳炎)があるが、全ての予防接種対象者に個別に通知した。また、安全な予防接種を実施するため、個人の接種を管理するとともに、広報、ホームページで周知した。 ・インフルエンザの予防接種の費用の補助を実施した。 ・職員は、予防接種の実施及び予診票の発送、点検、委託料の支払事務を行った。 ・平成23年1月からは子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチンの無料接種を実施した。 <p>【直接経費の内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> 賞金等(988千円) 予防接種協議会等委員謝礼(43千円) 消耗品・通信運搬費・備品等(7,015千円) 予防接種等委託料(394,765千円) 予防接種等補助金(23,982千円) <p>○平成24年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団接種、個別接種については、平成23年度と同様に実施する。 ・インフルエンザの予防接種の費用の補助については、平成23年度と同様に実施する。 ・子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチンの無料接種については、平成23年度と同様に実施する。 									
受益者負担	無										

		単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	321,512	276,003	426,793	478,723	
		正職員	従事者数	人	0.90	0.90	0.90	0.90
			人件費	千円	4,787	4,787	4,787	4,787
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計	千円	326,299	280,790	431,580	483,510	
	対前年比	%			86.0	153.7	112.0	
財源	一般財源	千円	312,185	242,843	347,819	388,599		
	国・県支出金	千円	1,743	23,662	69,786	79,511		
	その他財源	千円	12,371	14,285	13,975	15,400		

業	活動指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	績	麻しん風しん混合実施医療機関	箇所	目標	54	55	55
実績				54	55	55	
三種混合実施医療機関		箇所	目標	54	55	55	57
			実績	54	55	55	
			目標				
			実績				
成果指標名		単位		H21	H22	H23	H24
業	麻しん風しん混合	人	目標	—	—	—	—
			実績	5,489	5,351	5,472	
	三種混合	人	目標	—	—	—	—
			実績	1,467	1,410	1,220	

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	事業の達成状況	集団接種、個別接種を実施することで、市民が感染症へ感染することを予防した。				
		事業実施における課題等	ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンの無料接種が実施され、乳幼児期の予防接種が過密になり、事故等の発生の恐れがある。また、国においてポリオの不活化ワクチンへの変更が検討されているので、変更への適切な対応が必要である。 また、平成22年の愛知県衛生統計年報によると、全死者数に対し肺炎による死者数の割合が70～74歳で増加しており、高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種の対象者拡大を検討する必要がある。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	小児マヒ、麻しん、風しん、日本脳炎等への感染者が増加し、入院患者、死亡者が増加する。				
	今後の事業の方向性	方向性の判定	現状維持				
		判定理由	ポリオの不活化ワクチンへの変更等に適切に対応しつつ、引き続き、集団接種、個別接種を実施し、市民が感染症へ感染することを予防する必要があるため。				
		改善案等	ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンの無料接種が実施され、乳幼児期の予防接種が過密になり、事故等の発生の恐れがあるので、実施医療機関への注意喚起を促すとともに、ポリオの不活化ワクチンへの変更等に適切に対応していくこととする。 また、高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種の対象者拡大を検討する。				

二次評価	方向性の判定	判定理由
	現状維持	一次評価のとおり。